

# 7階の再開にあたって

2012年1月27日  
せんだいメディアテーク

せんだいメディアテークは、「美術や映像文化の活動拠点であると同時に、すべての人々がさまざまなメディアを通じて自由に情報のやりとりを行い、使いこなせるようにお手伝いする」という目的を持つ施設です。今回、7階を再開するにあたり、この目的にいま一度立ち戻るとともに、さらに着実な目的達成へとその歩を進めることといたしました。

メディアテークは今後、「さまざまなメディアにさまざまな文化活動が蓄積され、それらを誰かが活用することで、また新たな文化活動へと派生していく」ような循環を持つ「アーカイブ」に重点をおきます。それは、地域のみなさんとの協働を通じ、蓄積されていく財産として保管するとともに、日常的にも活用されることを目指しています。

## 7階「スタジオ」が新しくなりました ～支援から協働へ～

スタジオは、これまで多くの地域のみなさんによる「表現する活動」や「情報を発信する活動」を支援する場として機能してきました。新しくなったスタジオは、それらの活動によって生み出される地域の共有財産となるような成果を、より確実により多くのみなさんに活用されることを共通の目標に、いままでのような「支援」ではなく、みなさんの取り組みとメディアテークが「協働」する場所へと、生まれ変わりました。これにより、メディアテークの機能、ノウハウ、ネットワークを最大限活かした事業の展開、情報の収集、蓄積、発信などが可能となります。

## 新しい「スタジオ活動」とはどんな活動？

スタジオ活動は、概ね3つあります。いずれも、みなさんの自立的な活動こそが、そのエンジンとなります。

- 1 集い考える場をつくる** 地域のみなさんが共有できる課題やテーマに集い、交流し、考える場をつくります。
  - ・相互に学びあえる機会として場づくりされていること
  - ・社会性、公共性を孕み、また育む機会であること
  - ・知識や情報や考えを分かちあう機会であること
  - ・継続可能な主旨、体制をもつ取り組みであること
  - ・メディアテークが取り組むべきと判断したものであること
- 2 成果物をつくり、残す** 地域のさまざまな表現活動を収集・蓄積し、成果物を通じ、発信します。
  - ・地域の歴史や文化にまつわる取り組みであること
  - ・継続的かつ体系的に蓄積することのできる取り組みであること
  - ・自立的におこなう取り組みの主旨が明確であること
- 3 施設を活かし、発信する** メディアテークが持つ機能や特性を活かし、オリジナルな活動に取り組みます。
  - ・首都圏や全国にも発信できる固有性を有していること
  - ・メディアテークのさまざまな機能を活かす取り組みであること
  - ・メディアテークでおこなう必然性が認められる取り組みであること

\*ここでいう「成果物」とは、さまざまなメディアに定着され、後世へと残すことが可能な状態にあるものを示しています。また、それら成果物は、イベント、ウェブ、ライブラリーなどを通じ、より広く、多くのみなさんに活用されることになります。

## 新しい「スタジオ」はどんな場所？

新しいスタジオは「協働する場」です。地域の共有財産を生み出す取り組みを自立的に進める地域のみなさん（パートナー）とメディアテークが協働し、1年を通じたスタジオ活動をおこないます。そのための映像・情報機器を備えた作業スペースやミーティングの場所、公開ワークショップや展示などのできるスペースが用意されています。

## 「パートナー」って？

地域の共有財産を生み出す取り組みを自立しておこなう個人・団体を、これまでの実績、将来性、ユニークさなどの観点からメディアテークが「パートナー」として選定、協働によるスタジオ活動を実施します。（2012年度はモデル事業を実施します。2013年度から、一般公募により協働相手を選定する予定ですが、趣旨に賛同しスタジオ活動への関心をお持ちの方はスタッフまでご相談ください。）

## 新しくなったスタジオの変更点について

2012年1月27日に、スタジオはリニューアルオープンしました。

〈変更点〉

◎スタジオの受付窓口を、エレベーター前の受付相談カウンターに統合しました。

◎市民との協働プロジェクトの活動場所となる「プロジェクトルーム」を設置しました。  
しばらくは「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の活動が行われます。

◎美術文化ライブラリーは、震災の天井落下により家具や資料が破損したため閉室いたします。  
資料の一部は、3Fの図書館に移して閲覧・貸出ができるようになりました。

◎公衆無線LANサービス開始します。7階と2階のベンチ等で、FREESPOTの無線LANサービスがご利用いただけます（接続の設定はご自身で行っていただきます）。

◎コピー機（有料、セルフサービス）は受付・相談カウンター前に移動しました。

◎スタジオでの飲食が可能となりました。持込の飲食ができる場所は、1階南側のベンチ、7階南側のベンチ、7階北側の立食用テーブル（今後設置予定）、スタジオa、bとなります。ただし、スープ麺類などの汁物の飲食、飲酒は、できません。

## スタジオの活動予約のない空き時間のテーブル・椅子の利用について

スタジオ活動時間外で、スタジオaとスタジオbの空いている机や椅子は、どなたでもご自由にご利用いただけます。

※当日スタジオ活動が入る場合があります。その際は、スタジオ活動を優先し、席を空けていただく場合がございますので予めご了承ください。

また、電源サービスはありません。

## 2012年1月27日～3月31日(平成23年度内)のスタジオでの活動予定

メディアテークの主催事業による展示などをおこないます。

### 志賀理江子 7階のアトリエ

3年前に名取市の北釜に移り住み、作品制作をしながら国内外の展覧会で発表している写真家・志賀理江子。

2012年の秋の個展にむけた志賀理江子の展覧会のプランを展示します。志賀のアトリエのような場所として展示をおこない、会期中には作家がその場所を使って制作することもあります。

2/1(水)～3/31(土) 10:00～21:00

7f スタジオ a

入場無料

### コール&レスポンス展

アーティストやキュレーターから作品制作や展覧会企画について学ぶレクチャーやワークショップを受講後、参加者が集団で展覧会をつくる。参加者自らが発案した展覧会の企画案をパネルで展示します。

3/1(木)～(予定)

7f ラウンジ (予定)

### せんだいデザインリーグ 2012

#### 卒業設計日本一決定戦

東北大学百周年記念会館川内萩ホールで開催される公開審査の様子を中継します。

3/5(月) 15:00～19:30

7f スタジオ b, スタジオシアター, 会議室 ab

※整理券が必要となる会場があります、詳細は大会公式ウェブサイト <http://gakuseikaigi.com/nihon1/12/> に随時掲載されます。

入場無料

### 3がつ11にちをわすれないためにセンター

市民、専門家、スタッフが協働し、震災の復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録していきます。さまざまなメディアの活用を通じ、情報共有、復興推進に努めるとともに、映像、写真、音声、テキストなどを「震災の記録・市民協働アーカイブ」として蓄積、公開します。また、一人ひとりの震災体験を語り直し、震災復興の支援活動について考えるユーストリーム番組「わすれんTV 311」の公開収録も行われます(詳しくはイベントスケジュールをご覧ください)。

7f プロジェクトルーム

### 制活編集支援室

水戸を拠点とするアーティストの中崎透と、日常生活の一角をおもしろく、楽しくするアイデアについて考えていきます。何気ないユニークなアイデアと一緒に探しながら、ラジオ放送形式のトークイベントと手作り新聞の発行をおこないます。

・ラジオ放送形式でのトークイベント。これまでの番組はウェブサイトから聞くことができます。

・手作りの新聞の発行(A3サイズ) 現在『制活新聞』第0-3号を配布中。

※これまでの活動や今後の活動の詳細はウェブサイトでお知らせしております。

3/20(火)～3/31(土)(予定)

7f スタジオ b

### 星空と路～3がつ11にちをわすれないために

東日本大震災をうけて設置された「3がつ11にちをわすれないためにセンター」。参加者である多くの市民とともに震災復興の様々な過程の記録を制作、発信してきました。ちょうど1年が経過するいま、ここに蓄積された映像や資料をご紹介します。この1年を振り返ります。

#### 上映室

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」に寄せられた市民による映像のほか、ショートピース! 仙台短篇映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭など独自の視点で東日本大震災をとらえた映像や映画を上映します。震災で津波の大きな被害を受けた人々の「語り」を記録した映画(監督: 濱口竜介、酒井耕)『なみのおと』『なみのこえ』など、監督の来場や、トークも予定しています。

3/6(火)～3/12(月)

7f スタジオシアター

入場無料(『エクレール・お菓子放浪記』のみ有料)

※また、1階オープンスクエアでは「資料室」と題して、3/10～11に「3がつ11にちをわすれないためにセンター」とともに活動を行ってきた市民団体による震災・復興の記録展示、震災復興を考えるための図書資料の展示を行います。

### 「3.11 キラクのキロク～市民が撮った震災記録」写真展

被災者自らが撮った震災記録、そして次世代に残そうとしたみんなの想いをエピソードとともに展示します。

3/6日(火)～3/31(土) 開館時間中(※3/22は休館)

1f・7fの南側スペース

入場無料

## 2012年4月1日～2013年3月31日(平成24年度)のスタジオ活動の一例

パートナーとのスタジオ活動をモデル事業として開始します。

### 集い考える場をつくる

てつがくカフェ@せんだいによる「てつがくカフェ」の開催

内容: 2011年度は「震災の〈当事者〉とは誰か」「〈支援〉とは何か」など、震災をテーマに月1回、参加者同士で対話するカフェを実施してきました。てつがくカフェは、わたしたちが通常当たり前だと思っている事柄からいったん身を引き離し、「そもそもそれって何なのか」といった問いを投げかけ、「対話」をとおして自分自身の考えを逞しくすることの難しさや楽しさを体験するものです。

### 成果物をつくり、残す

NPO 法人 20世紀アーカイブ仙台による地域映像アーカイブ作業

内容: 仙台の昔の写真や映像フィルムを集め、デジタルデータに変換して保存し、みんなが閲覧できるようにWEBサイトで公開したり、展示会や上映会を開催します。

